

9月3日(火)、都内で「足立としゆき君と語る会」を開催していただき、1000人を大きく超える皆さんにお集まりいただきました。ご支援をいただいた皆さま、ありがとうございました。

会は、後援会長の陣内孝雄元参議院議員のご挨拶に始まり、林芳正官房長官、松本剛明総務大臣、谷公一前国土強靱化担当大臣、脇雅史元参議院議員、建設業界を代表して日建連の宮本会長から激励のご挨拶をいただきました。その後、私から決意のご挨拶をさせていただき、全日本トラック事業政治連盟の坂本最高顧問から乾杯のご発声で会は盛大に始まりました。中締めは全建の今井会長にとり行っていただき、会はずつがなく終了いたしました。



参議院議員 **足立 敏之**



林芳正官房長官は、ご挨拶の中で「防災・減災、国土強靱化」の推進の必要性を強く訴えられました。なお、林長官はこれに先立ち、自民党総裁選への出馬表明の会見をされており、その中でも公約として掲げられた「3つの安心」の一つとして、今回の台風10号や能登半島地震に触れ、**防災・減災、国土強靱化の推進について述べるとともに、ハード、ソフト両面のインフラ整備を訴えておられます。**また会見の中では、経済をよくするために必要な財政出動はためらってはならない、とも述べられています。**私は、このような政策を掲げられている、自民党総裁候補の林芳正官房長官を支持することといたしました。**



林芳正官房長官が訴える政策

林長官が訴えている防災・減災、国土強靱化の推進のためには、公共事業予算をしっかりと確保していくことが必要です。しかし、公共事業予算の抑制によって、平成10年当時15兆円あった公共事業予算が、平成24年には4.6兆円まで削減されました。その後、アベノミクスによって6兆円まで復活し、岸田政権でもこの流れは継続され、防災・減災、国土強靱化により現在は8.3兆円まで回復しました。激甚化、頻発化する災害に対応する国土強靱化のさらなる推進や、能登半島地震の状況を見るまでもなく災害時の緊急復旧に必要な交通・物流インフラの整備のため、これまでの政策を継承し引き続き公共事業予算を拡充していくことが不可欠です。このためにも、**林長官には国の舵取り役を担っていただきたいと思ひます。**



林ヨシマサ
特設サイトです
左のQRコードを
スマホのカメラ
で読み取り、
是非ご覧下さい

岸田政権は、賃上げを大きな柱として政策を展開しました。これを受けて公共工事の設計労務単価は12年連続で増額となりました。この流れを断ち切るわけにはいきません。公共事業予算の拡充を訴える林長官のもとで建設分野の賃上げを、さらに着実なものとしていきたいと考えます。

国の公共事業予算の推移

